

水道料金改定についてモデルケースで考察

○ 令和5年度現在の水道料金

年度／モデルケース		1人世帯 φ13 10m ³	3人世帯 φ20 20m ³
令和5年度	月々	1,255	2,616
	年額	15,060	31,392

◎ 諮問 令和6年4月より平均17%の水道料金値上げ

年度／モデルケース		1人世帯 φ13 10m ³	3人世帯 φ20 20m ³
令和6年度 (R5対比117%)	月々	1,468	3,061
	年額	17,616	36,732
令和7年度 (R5対比117%)	月々	1,468	3,061
	年額	17,616	36,732
令和8年度 (R5対比117%)	月々	1,468	3,061
	年額	17,616	36,732
3年間の 値上げ額	月平均	213	445
	3年間総額	7,668	16,020
令和9年度 (R8対比122%)	月々	1,791	3,735
	月上昇額	323	674

● ケース1、ケース2と比較したメリット・デメリット

	メリット	デメリット
受益者	・値上げは1回ですむ	・一気に17%値上げの負担感
水道課	・料金収入確保 (計画的な施設修繕等のための財源)	

● ケース1

年度／モデルケース		1人世帯 φ13 10m ³	3人世帯 φ20 20m ³
令和6年度 (R5対比110%)	月々	1,380	2,878
	年額	16,560	34,536
令和7年度 (R5対比120%)	月々	1,506	3,140
	年額	18,072	37,680
令和8年度 (R5対比120%)	月々	1,506	3,140
	年額	18,072	37,680
3年間の 値上げ額	月平均	209	437
	3年間総額	7,524	15,720
令和9年度 (R8対比118%)	月々	1,791	3,735
	月上昇額	285	595

※平均改定率 16.66% 不足額 1千9百万円

● ケース1 諮問案と比較したメリット・デメリット

	メリット	デメリット
受益者	・値上げ開始時の負担軽減 ・令和9年度の料金改定時に 適応しやすい	・令和7年度には大きな負担となる ・下水道の料金値上げ(令和7年度 12%)と重なる ・2年連続値上げの負担感
水道課	・料金収入確保 (計画的な施設修繕等のための財源)	・システム改修費増 ・事務の煩雑化(広報、許認可) ・料金収入の不足 (1千9百万円)

● ケース2

年度／モデルケース		1人世帯 φ13 10m ³	3人世帯 φ20 20m ³
令和6年度 (R5対比110%)	月々	1,380	2,878
	年額	16,560	34,536
令和7年度 (R5対比115%)	月々	1,443	3,009
	年額	17,316	36,108
令和8年度 (R5対比120%)	月々	1,506	3,140
	年額	18,072	37,680
3年間の 値上げ額	月平均	188	393
	3年間総額	6,768	14,148
令和9年度 (R8対比118%)	月々	1,791	3,735
	月上昇額	285	595

※平均改定率 15.00% 不足額 1億6百万円

● ケース2 諮問案と比較したメリット・デメリット

	メリット	デメリット
受益者	・値上げ開始時の負担軽減 ・令和9年度の料金改定時に 適応しやすい	・下水道の料金値上げ(令和7年度 12%)と重なる ・3年連続値上げの負担感
水道課		・システム改修費増 ・事務の煩雑化(広報、許認可) ・料金収入の不足 (1億6百万円)